平成30年度第2回黒石市総合教育会議議事録

◇開催日時 平成31年3月27日(水) 午後3時30分

◇開催場所 黒石市教育委員会 会議室

◇議事日程

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事
黒石市教育大綱案について
- 4 閉会

◇出席者

市長	高 樋	憲
教育長	山 内	孝 行
教育委員	宇 野	元 雄
教育委員	鈴 木	美 香
教育委員	永 川	信 子
教育委員	後 藤	耕 谷

◇説明のために出席した者の氏名

市長部局	総務部長	小 林 清一郎
	秘書課長	鈴 木 正 人
	秘書課長補佐	扇 谷 由美子
教育委員会	教育部長	成 田 秀 範
	理事指導課長	佐 藤 正 徳
	学校教育課長	藤 田 克 文
	社会教育課長	八木橋 寿
	文化スポーツ課長	今 井 保 雄
	学校教育課長補佐	駒 井 俊 也

◇会議の概要

開会 午後3時30分

秘書課長 定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第2回黒石市総合教育会議を開催いたします。市長からごあいさつと議事進行をお願いいたします。

市長あいさつ

高樋市長 大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

先月2月26日に第1回の会議を開催させていただきまして、大綱について皆様から審議をいただきながら、また改正するところ等々のご指導をいただきました。今回はそれを整理した上で黒石市教育大綱案を提出させていただきましたのでどうぞ皆様の忌憚のないご意見をいただきながらこの大綱を市民みんなが共有して子どもたちの学力の向上、人間力の向上等にうまく結びつくような大綱になるようにご

助言いただければ有難いと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

高樋市長 それでは座って議事を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。議事に入ります前に、本日の会議の議事録の署名者を決めたいと考えております。

黒石市総合教育会議運営要綱第7条第3項の規定によりまして、議長及び議長が指名する1人の構成員が署名することとなっておりますので、後藤委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

後藤委員 はい。

議事 「黒石市教育大綱案について」

高樋市長 それでは、議事に入ります。

しばらくの間、委員の皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日の議題は、黒石市教育大綱案についてであります。

庶務のほうから説明をお願いいたします。

総務部長 総務部長の小林でございます。よろしくお願いいたします。それでは私のほうから黒石市教育大綱見直し案につきましてご説明させていただきます。座って説明をさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。本日、委員の皆様にお配りしている資料、A4横長3ページのものになってございます。そこで左側のほうの資料については平成29年から31年3月までの、いわゆる現行の黒石市教育大綱。右側の方には黒石市教育大綱（見直し案）と表示してありますが、こちらは2月26日に原案をお示しし委員の皆様からご意見を賜り再度調整いたしました、いわゆる見直し案ということで配置してございます。また、現行の教育大綱の変更部分をアンダーラインで示し、さらに見直し案ではさらに赤く標記させていただいております。

それでは見直し案の内容につきまして現行の大綱との変更点を中心にご説明させていただきます。

1、目標の心豊かな人を育てるまち黒石、そして2、基本的な考え方としての「おもいやりにあふれ、誰もが安心して暮らせる共生社会の形成を願い、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重しながら、生きる力をもって主体的に新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人づくりを目指します。」こちらについては、変更はございません。

続きまして、3、教育施策の4つの柱のうち（2）においては、先日の会議でもご説明させていただきましたが、黒石市の第6次総合計画、それから青森県社会教育行政の方針の重点との整合を図ることといたしまして、「家庭や地域での学びを生かし、人と人とのつながりを」以降の部分で、「人と人とのつながりをつくり、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう社会教育の充実に努めます。」と変更しようとするものであります。次に、4、見直し後の黒石市教育大綱の計画期間につきましては、2019年4月1日から2023年3月までといたします。

資料の2ページをお開き願います。

5、教育施策でございますが、先にご説明いたしました教育施策の4つの柱それぞれの柱につきまして最重要項目をお示ししてあります。1つ目の柱でございます。「夢や志の実現に向けた、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学校教育の推進と安全で良好な教育環境の整備、充実に努めます。」こちらの最重要項目の1番目「確かな学力と豊かな人間性の育成」につきましては、現行の「いじめ等のない」を見直し案では「よりよい人間関係を築き」と改めようとするものであります。先

日の会議でも、いじめ問題は決して無くなってはいないということでございましたが、より大きな前向きなテーマということで、こちらのほうに改めようとするものでございます。次に3番目の項目でございます。中学校の統合が平成29年度をもって完了したところから、こちら小・中学校を小学校に改めるとともに、後段の部分には「安心・安全な教育環境の整備」、それから2020年度（平成32年度）から実施に向けて準備を進めているところの「小学校における完全給食の実現」こちらを追加しようとするものでございます。

2つ目の柱である「家庭や地域での学びを生かし、人と人とのつながりをつくり、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう社会教育の充実に努めます。」こちらの最重要項目につきましては、まず項目の前後を入れ替えることといたしまして、まず1番目といたしまして「学校・家庭・地域の協働による人材育成と持続可能な自立した地域づくりの推進」といたしました。説明文の部分につきましては、全面的に改定をいたしまして、学校・家庭・地域がそれぞれの役割、連携・協働によりまずは子どもたちの成長、さらには魅力ある地域コミュニティの形成につきまして、より具体的な説明文にしようとするものでございます。また、2つ目の生涯学習に係る記述につきましては、こちら「生涯を通じた学びと社会参加の推進」と改めまして、学習機会の充実に関しましても、それぞれの住む地域の課題解決に向けた前向きな記述に改めようとするものでございます。

資料の3ページをお開き願います。3つ目の柱の「歴史と文化を尊重し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進と地域の歴史・文化の保存と継承を図ります。」こちらの最重要項目につきましては、1つ目の項目といたしましては、「現行の伝統的建造物群の保存と啓発」を「文化財の保存と活用」に改め、また説明文の部分につきましては、黒石市内すべての文化財の保存、それから文化財の継承に向けて「啓発」から「活用」に改めるなどの変更をしようとするものでございます。2つ目の項目は、今般の見直しで新たに追加しようとする項目となります。「歴史と文化の継承」につきましては、これまでの実施してまいりました施策を最重要項目として掲げることとし、目標の実現を図ろうとするものでございます。また、3つ目の項目「芸術文化活動の支援」についてでございますが、説明文に「芸術文化団体の指導者の育成と確保に努める」といった、より具体的な施策の説明となるよう追加しようとするものでございます。

最後に4つ目の柱の「心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進と健康都市宣言に伴う教育環境の充実に努めます。」こちらの最重要項目、3つのテーマのうち1つ目の項目「一市民一スポーツの推進」では、スポーツに親しむことを「スポーツを通じた健康づくりを促進する取組」と改め、2つ目の「スポーツ施設の管理運営」の説明部分をより具体的なものに改めようとするものでございます。3つ目の「健康教育」につきましては「推進」を「充実に改め、「具体的な方法を身に付ける取組を充実させる」などの記述に改めようとするものでございます。

私からは以上でございます。

高樋市長 ただいま説明がありました教育大綱案につきまして、皆様方からご意見ご質問等ございましたらお願いします。

宇野委員 はい。

高樋市長 どうぞ。

宇野委員 宇野です。今説明がありましたように、項目は少し増えましたが非常に具体的な表現でわかりやすい表記だなと思われました。私が一番こだわっていたのが、教育施策の1で最重要項目の「小学校の適正配置の推進と実現」というところです。

「安心安全な教育環境」を掲げていることに非常に納得しています。保護者にとっても、これから学校に通わせる子どもに「安心・安全な環境」を提供するということが表記されていたので、これから新設校の統合が進んでも、スクールバスや防災にしても、ここのところに納得感があります。

高樋市長 ありがとうございます。永川委員お願いします。

永川委員 先日はいろいろ意見を言わせていただいて、いろんなかたちで反映されているものになっていると思います。これからこれをどのようにして周知徹底するのか、市民の方はもちろんですが、まずはこれを具体化する人たちがどのように活用して行くかということに懸かっていると感じています。校長をやっていた時もそうですが、どんなに学校で保護者にいろんなものを配ったり尽くしたりしていても、見ない人は全く見ていないと言うので、いろんな知恵を絞って周知徹底あるいはこれを実現するための具体的な知恵、いろんなことをこれからがんばってもらいたいと思います。以上です。

高樋市長 ありがとうございます。後藤委員お願いします。

後藤委員 前回の会議を経て、この見直しされた案を見ますと、非常に良くまとめられていて大変良いのではないかと感じております。計画期間が4年間となっていますので、4年間でこの教育大綱を基にしていかに具現化していくか、これが大事なのではないかと感じております。以上です。

高樋市長 ありがとうございます。鈴木委員お願いします。

鈴木委員 前にお話しさせていただいた給食の件なのですが、これからまた新たな問題が出てくるかと思いますが、それに対応するようなかたちをこれからどんどんとまた練り上げていきたいと思っています。地区協議会のコミュニティの活動については、「子どもから高齢者まで多様なニーズ」と書かれてあります。これに関してはやはりこれからもっともっと高齢化が進み、少ない人数に対応していけるような、そして先ほど宇野委員もおっしゃったような災害に対してもいろいろ対応ができるようなかたちを市の方からもっと協力的にやっていけたらと思っています。以上です。

高樋市長 ありがとうございます。教育長お願いします。

山内教育長 ちょうど2年前に初めて大綱を作った時には、適正配置の中学校の統合が進んでいる最中であり、それが新黒石中学校の統合で大変スムーズに進みました。さらには上十川小学校・六郷小学校の統合が2年目の大きな適正配置の柱でございましたが、こちらも順調に進んでいました。今後の4年間は小学校7校の統合が大きな柱になりますが、それがこれからの計画にきちんと位置付けられて、「安心・安全」ということを十分に配慮しながら、この大綱の達成に向けて取組んでいきたいと新たに強い決意を持ちました。以上です。

高樋市長 ありがとうございます。

この大綱の計画期間が2019年4月1日から2023年3月までとなっていますが、この間にもこの大綱自体が時代に合わなくなる部分も当然出てくるわけです。例えば「小学校における完全給食の実施を実現します」というところは、来年度は実現するわけでその後どうするのかということも当然出てくるわけで、その辺もまた委員の皆様にご随時ご相談申し上げながら対応していきたいと考えております。ホームページや市報にも掲載して市民にも見てもらうことをまず考えなければならないと思っています。

永川委員 市もそうですが、学校単位で保護者の方に配布するということも考えてもいいと思います。